

# ささやかな展望へのきっかけについて。。。

散らばって、各々が、思い思い、過ごしている風景は、



## 大田實司令官の電文から

大田實司令官が、目の前で地上戦が行われている沖縄の現状を、国に伝え、沖縄県民への将来に渡る配慮を訴えたものである。軍の立場がありながらも、目の前で起こっていることを観て、人として見過ごせなかったことであろうことが伺える電文である。ただ、戦争という極限のなか、司令官としての立場に立ったとき、どのような思いで、どのような行動が取れるのか考えてみたとき、果たして、私は、人として当たり前の配慮のある行動が、取れるものなのだろうか、ふと考えてしまう…。戦争でなくても、普段の場面でも、どうだろうか。

## 展望の意味

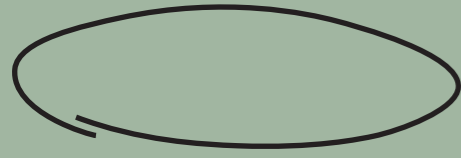
展望とは、遠くの方まで見渡すこと。ながめ。見晴らし。広く社会の出来事を見渡すこと。大田實司令官の電文も、目の出来事から、軍人ではなく人として展望した結果、生まれた行動ともいえるのではないかと考える。

そのとき大事なものは、目の前の出来事や光景について、その人自身がどのように考えるかであり、その先の行動が変わり、未来がより良いものへと変わることである。ここでは、眺望はもとより、内省的展望を含めて、その意味をととらえたい。

## きっかけ

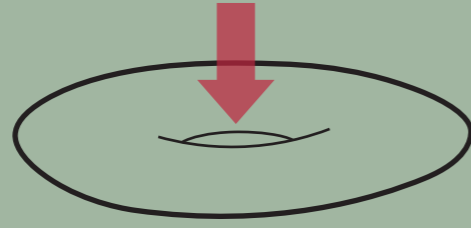
私にとって大切なものがあるように、隣にいる人にも、沖縄の人たちにも、日本の人たちにも、世界中の人たちにも、同じように大切なものがある。目の前にある、身近な大切なものへ目を向け直し、その先に、大きな平和のようなものがあるのではないかと、展望する「きっかけ」となる場所になって欲しいと思い提案する。いつもと同じものでも、少し違った光景に、はっとすることもあろう。。。。

## かたちについて



平たい丸いもの

腰をおろせる場所をつくる。丸いだけの目印のようなもので、ささいなきっかけのような。。



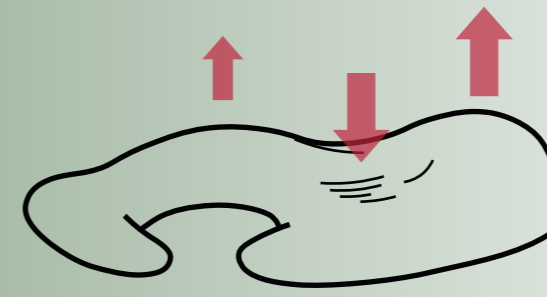
穴を開ける

腰をおろせる部分を増やす。



入り口をつくる。

誰もが、中に入れるように。



ふくらみをつくる。

平たい部分と丘となる部分をつくることで、背もたれになったり、高い腰掛けになったり、寝そべって過ごせたり。思い思いな過ごし方が生まれるように。。

- 計画物の構造
  - 丸い腰掛け
  - 無筋バガスコンクリート
  - 屋根
  - 生木構造（樹木）
  - 樹種：コバテイシ

## ○ 計画物の造りと目的

屋根は、樹木とし柔らかな木陰空間を生みかつ、公園の外構管理の一環として管理できるものとする。特別な建築的な管理を必要としない計画としました。



## ひとつづきのかたち

ここでは、どこからどこまでが自分の座るべき範囲か曖昧であり、その範囲は、自分の身体の大きさや、心的距離の大きさによって決まる。人との距離感を感じながら利用することになると、人は途端に、気遣い、遠慮し、しとやかになることもあれば、逆に素直になったり、気を許して大胆になることもある。ちょっとした気遣いの先に、ちいさな平和があるといいと思う。

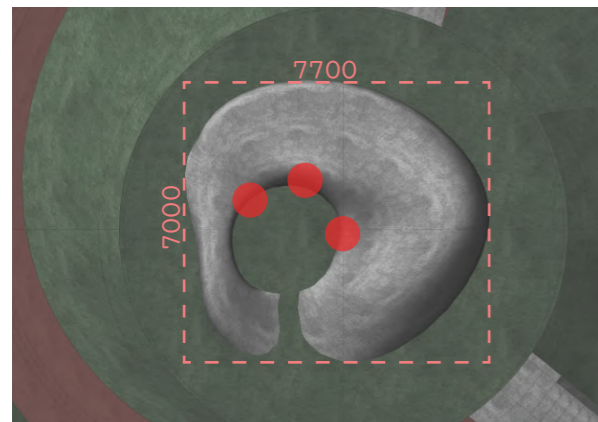


散らばっている

丸いオブジェクトと樹木を、斜面地にも散らばらせる。広い空間にも淡く、その雰囲気染め広がっていくような。。

休憩・展望機能を備えた丸い腰掛けは、無筋コンクリート造とし、コンクリートには、バガスコンクリートを利用します。バガスコンクリートは、コンクリートの中にサトウキビの廃材であるバガスを混入し施工するコンクリートで、廃棄物の削減に繋がります。素材としての特徴は、含水率が高く気化熱効果により、表面温度が高くなるという特徴があり、強い日射の中でも、腰掛ける表面としてうまく機能すると考えています。さらに、無筋であることから、鉄筋の塩害や酸化に起因する鉄筋コンクリートの寿命を考えなくてよく、長寿命となりライフサイクルコストの削減にも繋がります。

今回の提案は、建築物では無いため、研究中の素材であるバガスコンクリートでも、積極的に取り入れることができ、そのメリットを採用できるものとしています。

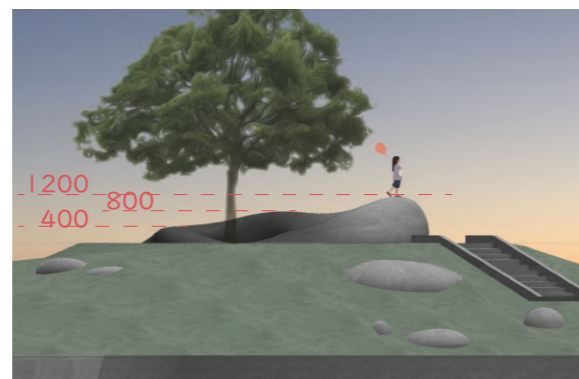


向かい合わせ

そこで誰かが会話をしている、親密な雰囲気を感じさせることがある。向かい合わせになるという行為は、相手やその距離、角度によって楽しいものであったり、反対に緊張感をはらむものであったりするが、そこに座っている人びとの絶妙な距離感が染み出しているようだ。

## ふくらみに寄り添う

人が、背後にある大きく広いふくらみにそっと寄り添って並んでいる。背後にふくらみを背負うことで、人びとは安心してそこにとどまっていられるように見え、大きなふくらみは、拠り所になっている。たとえひとりであっても、誰かとそんな風に一枚の背景を共有しているように寂しさはなく、見ている方まで安らぎを感じる光景である。



## ○ 曲面の施工

基本的には、土の上にコンクリートを敷く方法で形成できるので、まずは、土の形を目的の形態に合わせて整形し、その上にコンクリートを流し込みます。複雑な型枠を作らずとも、自由な局面の形態を整形できるものとしています。側面などコンクリートが流れ出てしまう部分については、一部型枠を利用したり、スランプを小さくするなど工夫することにより、簡単に整形できるものと想定しています。

